

新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議

新型コロナウイルス感染症は未だ収束の見通しが立たず、富士宮市にも暗い影を落としている。富士宮市は市内における新型コロナウイルス感染症の蔓延防止や、市民の不安解消、医療・福祉・教育施設等の安定及び継続的な運営を図るため、PCR検査体制の拡大をするなどの施策を進めている。

そのような中、新型コロナウイルス感染症に感染された方やその家族、濃厚接触者、医療従事者などに対する、不確かな情報や無理解による不当な差別や偏見、誹謗中傷などが社会問題となっている。差別や偏見、誹謗中傷を恐れるあまり、濃厚接触の可能性のある方や、有症状の方までもがPCR検査を拒んでしまう恐れがあり、そのことが感染拡大の要因となってはならない。

私たちが恐れるのは人ではなくウイルスである。今こそ全ての市民が一丸となってこの難局を乗り越え、富士山の名に恥じぬまちとして輝き続けるため、以下、決議する。

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染者、濃厚接触者や家族などに対する不当な差別、偏見、誹謗中傷やこれらを誘発する言動は絶対に行わない。
- 2 こまめな手洗い・手指消毒や三つの密を避けるなどの「新しい生活様式」を徹底し、感染拡大防止に努める。
- 3 医療・介護・福祉など、感染のリスクが高い現場で仕事に従事する方々やその家族に敬意を払い、感謝の気持ちを忘れない。
- 4 将来の富士宮市を担う全ての子どもたちが、いかなる状況においても最適な学習を受け、心に残る学校生活を送ることができるようにする。
- 5 新型コロナウイルス感染症に対して、正しい理解と思いやりの心を持ち、市民一丸となって乗り越える。

令和2年10月9日

富士宮市議会